



第3回 こあじろの森くらぶ総会



2018年9月2日(日)、「こあじろの森くらぶ」第3回の総会が、三浦市南下浦市民センターで行われました。午前中は、房総半島が雨に煙る空模様でしたが、幸いにも午後からはやみました。出席者は23名、委任状は27名です。

会場内には、森の動物達のスケッチや交流会、変形菌等の写真が数多く飾られておりました。

13時30分開始、全体進行の鈴木カヲルさん、議長の加藤利彦さんの手慣れた運営、

しっかりとした議案書によって、14時15分、無事に総会は終了しました。

今年は休憩をはさみ第2部として、スタッフの松原あかねさんの朗読がありました。衣服を改め、宮沢賢治の作品「虔十公園林」の発表です。物語の背景に入り込む静寂と緊張感、それは実に素晴らしい巧みな語り部さんでした。ほんとうにありがとうございました。

総会終了後、小網代の森へ5名の会員が出かけました。



記：祖父川精治



写真：浪本晴美

松原あかねさん プロフィール

小網代の森を守る会発足時からの会員・スタッフ。守る会の活動と並行して三浦市内のサークル「ひばりの会」で朗読を学び、仲間と共にお年寄りや子供たちに向けたお話ボランティア活動を実施中。また語りの世界に目覚め、「桜木会」というユニットで公演を続け、最近では講師としても活動されるなど、エネルギーに活躍中です。

2012年「古典の日記念朗読コンテスト」(全国)大賞受賞

開会のご挨拶



会員のみなさま、スタッフのみなさま方のご協力ご支援によって、今年も無事に総会開催を迎えることができました。ほんとうにありがとうございます。

最大のニュースは、こあじろの森にきれいなトイレが完成したことです。仮設トイレでは、利用し難いという声がありました。神奈川県では、「三浦半島だより」へ県有緑地である奇跡の森「小網代の森」を見に行こうと、県民へPRをしております。水洗トイレが完成し、より便利となり安心して森を歩けるよう

になったと述べています。

活動については、新しい取組が幾つかあります。

4月8日（日）、横須賀市光の丘水辺公園へ「ニリンソウ」を見にでかけました。光の丘水辺公園友の会会長の別府史朗さんのご支援を戴きありがとうございました。私は、北アルプスの上高地や相模原市の城山で大群落を見ておりますので、白いニリンソウは山の花と思っていましたが、温暖な三浦半島で見られるとは驚きでした。群生地では、柵を設け花期以外では立ち入り禁止としています。

4月29日（日）、第10回交流会では、講師をお招きして「地衣類って何だ？」を実施しました。参加者は18名です。森中の身近にありながら、余り知られてない「コケ」の仲間の見学会です。午後からは小網代の森、入口のひげ爺のお店で会員の「加藤利彦さんのスライド写真とトークを楽しむ会」も好評でした。折から開催中の、「変形菌—ふしぎ？かわいいビックリ！森の妖精—」展を見学に茨城県自然博物館へ、6月8日（金）に出掛けた会員もおりました。

8月11日（土）、アカテガニ遠足を実施しました。参加者は18名です。

横須賀市荒崎から続く、栗谷浜（くんぱま）、長浜（なはま）海岸で、ソレイユ（フランス語 太陽）の丘の南方の岩礁です。海は多少荒れていましたが、天気も良くアカテガニの放仔も見られました。

総会第2部として、松原あかねさんの朗読の会、「虔十公園林」を予定しております。どうぞご期待ください。

会員の皆さま、ぜひぜひ会の行事へ参加して頂き、こあじろの森を楽しまれる事をお勧め致します。

祖父川精治



第1号議案 2017年度活動報告

- 2017.07.09 (日) スタッフミーティング (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2017.07.24 (月) スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2017.08.07 (月) スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2017.08.27 (日) こあじろの森くらぶ 第2回総会 終了後森を散策
- 2017.09.10 (日) スタッフミーティング (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2017.09.24 (日) スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2017.10.12 (木) 第7回交流会下見 13:00 三崎口駅前集合
- 2017.10.22 (日) 第7回交流会は荒天のため中止になりました
- 2017.11.11 (土) スタッフミーティング (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
通信 No.9 打ち合わせ
- 2017.11.21 (火) 第8回交流会下見 13:30 小網代漁港集合
- 2017.11.26 (日) スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
こあじろの森くらぶ通信 No.9 印刷
- 2017.12.01 (金) 野内眞理子さん植物画展、会場打ち合わせ (逗子文化プラザホール)
- 2017.12.03 (日) 第8回交流会「小網代の森から諸磯の自然を探訪」10:00 三崎口駅前集合
諸磯散会后、「縁の会」(油壺入口 みつ葉)
- 2017.12.10 (日) スタッフミーティング (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2017.12.25 (月) 第9回交流会「恒例、鳥いっぱい谷と海」お知らせハガキ発送
- 2018.01.09 (火) 野内眞理子さん植物画展搬入 (逗子文化プラザホール)
(展示終了まで全日1~3名のスタッフが常駐)
- 2018.01.15 (月) 野内眞理子さん植物画展撤収 (逗子文化プラザホール)
- 2018.01.28 (日) こあじろの森くらぶ通信 No.10 印刷・発送
通信作業終了後スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2018.02.04 (日) 第9回交流会 「恒例、鳥いっぱい谷と海」
- 2018.02.11 (日) スタッフ研修 国立科学博物館「南方熊楠、地衣類」
- 2018.03.11 (日) スタッフミーティング (於 横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2018.03.25 (日) こあじろの森くらぶ通信 No.11 印刷・発送
スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2018.03.27 (火) スタッフ研修「伊豆大島」
- 2018.04.08 (日) 光の丘水辺公園遠足「ニリンソウを訪ねて」 解散後第10回交流会下見1
- 2018.04.19 (木) 第10回交流会下見2
- 2018.04.29 (日) 第10回交流会「地衣類って何だ？」
加藤利彦さんの写真とトークを楽しむ会「日本の風景と生きもの」(於：ひげ爺の栖)
- 2018.05.13 (日) スタッフミーティング (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
スタッフ研修「船久保遺跡 (三浦半島の旧石器時代発掘現場説明会)」
- 2018.05.19(土) 第11回交流会「ホテルを見に行こう」お知らせハガキ発送
- 2018.05.27 (日)・29 (火)・06.02 (土) 第11回交流会「ホテルを見に行こう」
- 2018.06.08 (金) スタッフ研修 茨城県自然博物館「変形菌ーふしぎ？かわいい！森の妖精ー」
- 2018.06.10 (日) スタッフミーティング (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2018.06.24(日) こあじろの森くらぶ通信 No.12 印刷・発送
スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)

第2号議案 2017年度決算

収入の部				支出の部			
科目	17年度予算額	17年度決算額	差異	科目	17年度予算額	17年度決算額	差異
前期繰越金	740,015	740,015	0	通信費	50,000	6,565	43,435
会費収入	74,000	73,000	1,000	交通費	10,000	12,106	-2,106
寄付金収入	216,700	203,968	12,732	事務消耗品費	25,000	5,494	19,506
				会議費	60,000	41,772	18,228
				広報費	20,000	53,733	-33,733
				諸手当	130,000	120,000	10,000
				次期繰越金	735,715	777,313	-41,598
	1,030,715	1,016,983	13,732		1,030,715	1,016,983	13,732

繰越金内訳
現金
郵貯銀行当座預金
合計

528,267
249,046
777,313

上記の通り 報告いたします。
2018年9月2日

会計 宮本美織



上記の通り 相違ありません。
2018年9月2日

会計監査 竹内晶子



第3号議案 2018年度活動計画

会則「小網代の森を楽しむことを通じて、会員の交流をはかる」にそって活動する。

- 交流会 5から6回 通信発行 5から6回
- 会員に提案して小網代の森以外での活動（遠足） 随時
- スタッフ研修 随時

参考案

- 9月15日（土） 交流会「変形菌を探そう！」
- 10月28日（日） 交流会
- 12月1日（土） 交流会「石器時代の三浦半島を想像して小網代の森まで歩こう」
- 2月3日（日） 交流会「冬鳥ウォッチング」
- 4月29日（昭和の日）「春の小網代を歩こう」 第2部会員写真交流会（できたら須田さんをお願いして）
- 6月 交流会「ホテルを見に行こう」 スターウォッチングもできます。
- 7月 遠足「アカテガニを見に行こう」
- 8月25日（月） 第4回総会&森歩き 会員さんをお願いしてスライド映写とお話
- ① スタッフ研修は随時アンテナを張っておきましょう。
- ② 会員さんに呼びかけて遠足を実施していきましょう。
- ③ HPの公開をしていきましょう。
- ④ 平日の交流会の実施も考えましょう。

第4号議案 2018年度予算案

収入の部				支出の部			
科目	2017年度決算額	2018年度予算額	差異	科目	2017年度決算額	2018年度予算額	差異
前期繰越金	740,015	777,313	37,298	通信費	6,565	10,000	3,435
会費収入	73,000	70,000	-3,000	交通費	12,106	15,000	2,894
寄付金収入	203,968	200,000	-3,968	事務消耗品費	5,494	20,000	14,506
				会議費	41,772	50,000	8,228
				広報費	53,733	60,000	6,267
				諸手当	120,000	140,000	20,000
				次期繰越金	777,313	752,313	-25,000
	1,016,983	1,047,313	30,330		1,016,983	1,047,313	30,330

第5号議案 スタッフ案 ※ 代表をおかず、スタッフ会議の多数決により運営する。

高橋伸和 浪本晴美 仲沢イネ子 橋美千代 菅野哲生 祖父川精治 中井由実 鈴木カヲル 別府史朗
松原あかね 木皿直規 山本述子 須藤伸三 宮本美織 倉内ちひろ

会計監査 竹内晶子

第6号議案 その他

退会希望の会員の会員資格について会則変更の提案があり、下記のように承認されました。

5 項 運営のうしろに 6 項を追加

6. 退会希望会員の会員資格

退会希望のあった会員については当該期の 9 月会報または総会報告の掲載された号の送付をもって、会報の送付を終了、会員資格を喪失するものとする。

こあじろの森くらぶ会則

1. 名 称

本会是小網代の森くらぶという。

2. 目 的

本会是小網代の森をたのしむことを通じて、会員の交流をはかる。

3. 会員構成

- 1) 本会是小網代の森を愛する会員をもって組織する。
- 2) 会員は、7 月 1 日から翌年 6 月 30 日までの 1 年間の会費を納めるものとする。

4. 活動内容

- 1) 小網代の森をたのしむことを通じて、会員の交流をはかるための活動。
- 2) 活動報告と自然を紹介する会報の発行。

5. 運 営

- 1) 会員からスタッフを募り、スタッフ会議の決議に基づき、目的達成のために必要な活動を遂行する。
- 2) スタッフ会議の決議は多数決をもって、これを行うこととする。

6. 退会希望会員の会員資格

退会希望のあった会員については原則当該期の 9 月会報または総会報告の掲載された号の送付をもって、会報の送付を終了、会員資格を喪失するものとする。

7. 総 会

本会は年 1 回、総会を開催する。

8. 財 政

本会は会費、寄付金収入等により運営する。

9. その他

- 1) 本会則の発効は 2015 年 8 月 30 日とする。2018 年 9 月 2 日より一部改正、施行する。
- 2) 本会則の改正は総会において、出席者の 3 分の 2 以上の賛成をもって、これを行うことができる。
- 3) 本会則は 2018 年 9 月 2 日に一部改正、施行する。

●●● 会員の皆さまからメッセージをいただきました ●●●



こあじろの森くらぶ通信、興味深く拝見いたしました。皆様の変わらぬご活躍のご様子、嬉しく思いました。 A.S

腰痛治療中の為に行事に参加出来ず申し訳ないです。 K.T

こあじろの森がますますたくさんの人に楽しんでもらえる場所になって素晴らしいと思います。私も楽しもうと思います。会の皆さまの活動がより発展することを祈ります。 K.E



先日 A.M さんに小網代の森をご案内頂き、自然の豊かさを満喫しました。又ご一緒させて頂きたいと思います。 N.O

いつも通信、ありがとうございます。 N。M

くらぶ通信をゆっくり、楽しく、拝見しています。今日までのスタッフ皆様方のお働きに心から感謝申し上げます。有難うございました。 T.T



会の行事には大昔、一度参加しただけですが、こあじろおよびその近辺にはときどき足を運んでおります。今後ともよろしく願いいたします。 S.O

役員の皆様に心より感謝申し上げます。今年こそ何とか懐かしい小網代の森へ行きたいと思っています。 Y.O

すばらしい長靴いらぬ遊歩道、長い道たどって着いた板の道、消えるのを阻止して出来た遊歩道、(近況)杖をつく身にははるけき板の道。 K.Y



いつもくらぶ通信を送って下さり、ありがとうございます。特に“サロン小網代”のコーナーが楽しみです。2017.12 月の S.S 先生の“中国唐山大地震”に興味深く、中国地図を片手に四川省を旅しました。面積・人口共に日本に匹敵する広い地域とは驚きでした。古代「蜀」の都とは！ ロマンがツツツと戻ってきました。良かったです。 H.F

参加出来ない時もあるかも知れませんが、よろしくお願いいたします。 Y.F

森くらぶ通信いつもありがとうございます。光の丘水辺公園遠足-ニリンソウを訪ねて大島クルーズ……とても興味深く読ませていただきました。いけなくても知識が広がりました。 K.K



スタッフの皆様いつもお世話頂き有りがとうございます。いつも忘れてしまい、お返事がおそくなりました。 T.I

いつもご苦労様です。 S.Y

小網代 トータル40年になりますでしょうか、是非自然残してほしいです。 N.O

いつもこあじろの森くらぶ通信を送っていただきありがとうございます、遠方でなかなか参加できませんが、そのうち！ と思っています。 K.N



相変わらず休日は介護の日々ですが、私自身は元気にすごしています。駅で小網代のポスターをみると元気をもらえます。 K.S

私は高齢になり、皆さんとの行事には参加がおっくうになりましたが、この会の発展を祈っています。 S.O

荒崎方面 アカテガニ遠足



8月11日(土) 参加18名

小網代の森一般開放以来、アカテガニの観察が今までのように自由参加ではなくなり、夜の場合も立ち入りが難しくなり、「アカテガニの放仔を久しく見ないね。どこかで見られるのかしら。」そんな声を聞いた会員の加藤さんが荒崎、ソレイユの丘の下で見られるよと教えて下さったのが今年の8月の総会の折でした。

そこで今年は加藤さんに案内して頂き、7月14日に下見をしてのアカテガニ遠足です。

当日前までの台風の余波がどのくらいなのか見

当がつきませんでした、ほぼ計画通りにできました。

15時50分 三崎口駅集合、バスでソレイユの丘へ。ソレイユの丘のバス停で、自家用車の3グループと待ち合わせ。顔馴染みのない方々なので、少し心配だったが無事集合完了。

17時、松原さんのリードでトイレの案内をしながら、ソレイユの丘のキャンプ場の側にある海岸への階段を下る。そこはお花畑で、ハマカンゾウ、ハマゴウなどとハチジョウススキが。突き出て見える油壺の緑の丘はここでもしか見られない青と緑と白い砂の世界。風が少々あったがみんな感激！ちなみにこの階段は夜になると施錠されます。ソレイユの丘を運営している「長井海の手公園パートナーズ」が津波対策で作ったとのこと。長靴に履き替えて準備。



大きな波を避けて岩の裾を小走りに歩く。波が引いたら歩き、満ちてきたら待っているのが濡れないコツ。ちょっと突き出た大岩に登って軽食、景色の堪能。菅野さんに横浜自然観察の森友の会作成のオリジナル紙芝居「アカテガニがいっぱい」を上演していただく。小網代の森の地形の特徴の場面は割愛させて貰った。さすが往年の名調子。お馴染み、大人になれるカニの数クイズも好調。夕闇がせまる気配、風は強い。富士山は見えないが雲がきれい。

18時30分、ここからはなお、岩に沿って歩くのだが途中、岩にへばりつくようにして移動する所もあり、岩歩きに不慣れな様子も見える。3点確保、これは不安定な所を歩くときの定石。手と足、4つの内、1つだけ動かして、後の3点は動かさないで移動する方法。意識してやるのとやらないのでは危険度が違う。途中で先頭に行くスタッフから大声で歩き方の説明がある。まっすぐ行けると思ったらすごい藪で手足がこすれるような所もあり、迂回したりもした。だんだん薄暗くなる頃、観察場所の栗谷浜漁港付近に着く。山から降りてきているカニの気配は濃厚。ベンケイガニやクロベンケイの姿もある。それぞれ、自分の見つめるカニに心を寄せて、目で追って放仔の時を待つ。久しぶりに参加のベテランカニパト隊員から「静かに動かないで待つように」の言葉が重く発せられる。シーンとした中、波音が頭の上を通る。4つくらいのグループからそれぞれにやったーの音が時々聞こえる。お産を終えたカニがぐずぐずとしているので、こちらも目と心がそちらへ動く。写真を撮る方は夢中のご様子。



20時少し前、かねしち丸の店舗そばで感想の出し合い。初めてカニの放仔を観察した方々は「感動した。」といって下さった。久しぶりにカニの放仔を小網代以外の場所で見ることになったスタッフたちは、「やはり夏にはこれがなくちゃ。」の思いを強くしたのではないかと思う。夜の海辺もちよっぴり緊張したけれど楽しくすごせた。

初めての場所で観察会をやったのだが、ついちょっと前まではゾエアの観察用のファーブルやワイングラスなどを用意して、最大200人規模のカニの放仔観察会をやっていたことなど思い出す余裕もなかった。次回は観察道具も用意しようと考えた。

記：宮本美織 写真：浪本晴美

●●● ご参加の皆さまから … 写真と感想をお寄せいただきました ●●●



写真：T.Ishizuka

放仔もたくさん見られて良かったです。道中スリルがありましたが、何事も無くて本当に良かったです。ありがとうございました。



震えているのが見られて面白かったです、また機会があれば見に来たいです。ありがとうございました。

僕も初めて見たのですけれども、また来たいと思います。ありがとうございました。

初めてではないのですけれども、何回見てもいいな、と。小網代のカニと荒崎のカニは結構、人相（カニ相？）が違うなと思いました。



ワイルドな会だなあと思われたかと思いますが、またぜひ交流会にいらしてください。

私も初めてで面白かったです。

こちらでのアカテガニの観察は、小網代と違うのは、小網代はアカテガニばかりでしたけれども、ここではアカテガニ以外の他のカニも共生して、一緒に仲良くお産をしているのが感動的でした。

初めてだったのですけれども、たくさんカニのお産が見られて感動しました。スタッフのみなさんがいろいろやってくださり、紙芝居も見せてくださってありがとうございました。



いろいろ考えされることがたくさんありました。自然について。アカテガニも他のカニもこうやって生きているんだということが本当に感動です。ありがとうございました。

はじめてで、いろいろ体験させていただきました。お騒がせしてすみません。お世話になりました。

感動しました。また機会があれば来たいので、誘っていただきたいと思います。子どもの夏休みの宿題にもなりました。



（利用してください。過去には賞をもらった子どももいます。宮本）
（お手伝いいただきありがとうございました。松原）



私は10年ぶりぐらいに見ました。守る会の観察会に紛れてカニの観察会に参加していました。紙芝居が懐かしくて、嬉しかったです。今日は大冒険でした。ありがとうございました。

今日はスリリングなことがいろいろあって面白かったのですけれども、歳を感じました。懲りずにまた来たいと思います。



今日は下見を含めてこの場所は2回目なのですけれども、他のグループも結構ここに観察に来ているということで、初めて使わせてもらいました。やっぱりアカテガニを見ないと、夏は。
潮叶ひ 身をふるわすや あかてがに 美織
「潮叶ひ」というのは万葉集の額田王の歌があります。

アカテガニの産卵を初めて見ました。ありがとうございました。



今日はワイルドな道行きでしたけれども、事故も無く、濡れはしましたけれども、無事ここまで上がってこられました。ご協力いただきまして感謝です。ありがとうございました。

小網代を詩う

度十公園林

今年の総会の後半は朗読会

物語は 緑の未来を見つめる賢者の短い一生

朝陽にきらめく杉を見上げては

嬉しさで、自然に笑いあふれてしまうという

何十年も先のこの地を想い

いや、考えるまでもなく

見えていたその林の美しさは

如何ほどであったことが

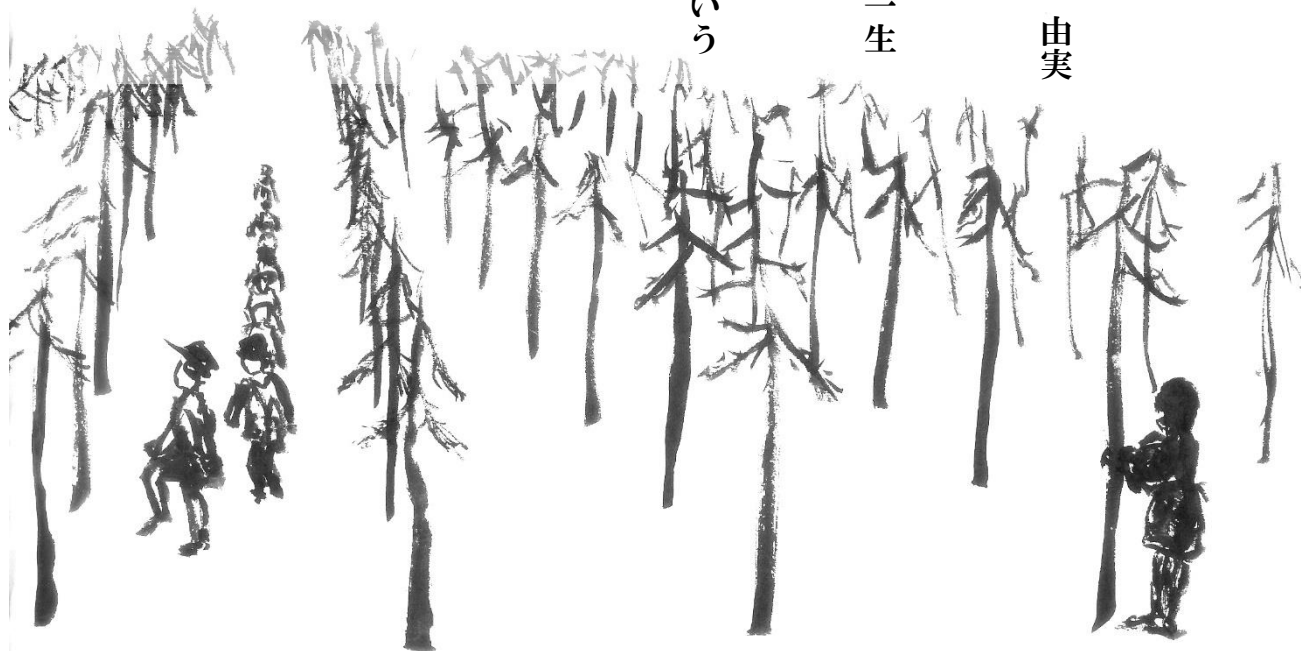
私達にも見えている

コナラの大木が光るのが

ハンノキの枝がそよぐのが

こんなにも嬉しい風景なのなもの

中井 由実



その生き方と共に 小網代

中井 由実

・・・快特三崎口行きです 発車します
アナウンスと同時に始まる わくわく
今から小網代に行く
そう思うだけで 気持ちが躍る

もうすぐ三浦海岸の海が見え
そして電車は終点へ
駅を降りたところで
三浦半島の仲間たちが待っている

何年経っても変わっていない
ここに小網代があるのだから

随想 代網小サロン

随想 小網代でんてん ③2

人とともに——アカメガシワ

須田漢一

三浦市・小網代湾奥に位置する、イギリス海岸の砂地に、アカメガシワの影が動く。

鮮やかな赤色の新芽を「赤芽柏」と名づけたトウダイグサ科のその木は、川の流域や道ばた、人家の近くなどに生える雌雄異株の落葉高木で、高さ15メートルともいわれるが、6メートルほどのものをよく見かける。

葉や茎が赤いのは紅葉したのではなく、^{せじょうもう}星状毛によるものという。星状毛は葉の両面や茎に生える小さく短い毛で、植物体を守っている。

花は、夏の盛りに咲く。黄色い雄花に花弁はなく、たくさんの雄しべが穂状（花穂^{かすい}）に見える。刺状の突起がある花は、花らしい形をしていない。葉は、晩秋に鮮やかな黄色になり、果実は乾燥するとサヤが割れて、中から4ミリほどの種子が出てくる。

かつて、私たちの先祖は食器代わりに木の葉や草の葉を利用していた。その習慣はいま、日

常生活のなかではすたれてしまったが、伊勢神宮ではお供えものを木の葉の上に盛ることもあった。

このように神饌^{しんせん}として使われた植物には、アカメガシワ、ホオノキ、カシワ、サルトリイバラ、ササの類があり、その流れは今でも各地に残っている。

有間皇子の

家^けにあれば筈^{ひな}に盛る飯を草枕、旅にしあれば椎^{しい}の葉に盛る（万葉集巻二—142）

この椎は現在いわれるシイの類ではなく、アカメガシワだったらしい。ツブラジイやスタジイの葉は小さすぎる。くらべて、アカメガシワは身近にあり、10〜20センチぐらいのモミジ状の葉身^{さいもりば}は、菜盛葉、ゴサイツパ（御菜葉）として、日常、人々に使われていたものだ。

民間では樹皮を野梧桐^{やごとう}と呼び、煎じ薬や消炎、鎮痛薬、胃酸過多、胆石症、はれものなどの治療に用いた。また燈用植物としても使われた。近世以降の油源植物に、カヤ、アブラギリ、

アブラチャン、エゴノキ、そしてアカメガシワが記録されている。アカメガシワの種子には25パーセントの乾性油が含まれ、燈油として利用された。また、黒染めの染料は雑木の鉄媒染によるもので、カシワ、ヌルデ、ハゼノキ等と同様にアカメガシワも利用された。三浦半島では、アカメ、アカンメと呼ばれ、鎌の柄、墨に摺りこむなど、人の生活の中に関わりの深い樹木だった。

いま、アカメガシワの巨木は倒され、ほとんど見ることはないが、その種子は道路の隙間、擁壁の間に芽生えている。

鮮やかな色の花は咲かないし、枝ぶりも野放図なアカメガシワは、桜や梅や松のように、その名を知っている人は少なく、話題になる木ではない。それでいて、何か気になる木でもある。その昔は、人に寄り添った木でもある。今、人が離れていつても、木はおのれの領分を守って、何事もなかったかのように、生きている。

そんなアカメガシワを、いつまでもそっとしておきたいものだ。

サロン小網代 長野県辰野町のゲンジホタル

祖父川精治

水森かおりの歌謡紀行「辰野の雨」を、長野県辰野町では町の PR ソングとして使っている。JR 辰野駅から天竜川に沿って南下し、東海道線の豊橋駅を結ぶ飯田線 196 キロ。無人駅等も数多くあり、鉄道マニアにとっては人気の高い路線である。

首都圏から比較的に近い、辰野駅から徒歩 20 分。天竜川松尾峡のゲンジホタルは、全国のホタル発生状況を全て調べた訳ではないが、国内では最大級の生息地といわれる。

高尾山より標高が高い 723 メートルにある町の位置が、ホタル発生生育上での地形的自然環境に恵まれている。大正 15 (1926) 年、長野県天然記念物に指定。町の中央を水源の諏訪湖から発した天竜川の流れ、周囲は 1,000 メートル級の山々に囲まれている。ホタルは初夏の季語、桜前線と同様に南方から次々に北上していくという。

辰野町では例年 6 月、10 日間に亘って盛大なホタル祭りを開催している。平成 23 (2011) 年は 6 月 17 日から 26 日まで実施。「長野県辰野町」で検索できる。町の公式ホームページ上へ毎朝、昨夜のホタル発生状況を発表している。町の係員数名で、20 時から 21 時まで目視カウント。ホタル実数としては、それより 1 割位は多いと思われる。人出も平日で 2~3,000 人、週末で 8,000 人と推定している。

町では、幼虫や餌のカワニナ等を許可なく捕獲することを条例で禁止している。

この年は、6 月 8 日 1 匹初確認。13 日 693 匹、15 日 1,353 匹、17 日 2,149 匹、19 日 3,876 匹、20 日 4,407 匹、21 日 6,404 匹 (この年最大)、これを見て私たちが出かけた翌日は 6 月 22 日 5,558 匹であった。

幾つもの細い水路のある鑑賞用の川は、東京ドームの倍位の広さの生息地である。この夜は梅雨空で、曇り時々雨遠く雷鳴といった悪条件。しかし 19 時 40 分初見、次々とホタルの数を増してゆき暗闇の中から一斉に歓声が上がる。特に水路上ではイルミネーション風で実に見事である。ピークは 20 時過ぎで、数百匹のホタルが一斉に、光り消え光り消えるといった明滅が揃う珍しい「集団同時明滅」も確認できた。



現地滞在は、18 時から 21 時迄の 3 時間。帰りは中央線の終電に間に合わないので昔は繊維、今は精密機器時計の町、岡谷駅前のホテルを予約して、翌日は中山道を歩き諏訪大社の上社と下社へ参拝して帰浜する。

資料によると、ホタルは小川の上流へ向かい飛んで行く事が多い。また、東日本では点滅が 4 秒間隔で西日本では 2 秒間隔であるといわれる。捕らえると不快な粘液質の体液を出す、それで鳥や他の昆虫からの捕食を防いでいる。発光はそれぞれ交尾の合図で、メスオス共に発光し 1 週間程度の儚い命で甘露しか飲まないという。

町の記録によると 21 日から 27 日迄は連夜 5,000 匹台が続き、28・29 日は 3,000 匹台、以下 7 月 5 日まで 2~1,000 匹台が続き 10 日に 78 匹を確認して町の公式発表は終了した。

過去の記録を調べてみると、平成 22 (2010) 年は 6 月 4 日初確認、25 日には最大 13,500 匹を記録している。平成 21 (2009) 年 6 月 23 日の最大は 11,044 匹。過去最大の出現数は、平成 20 (2008) 年で 6

月 23 日から 28 日まで連続 1 万台匹を数え、とくに 25 日は 16,020 匹と想像を超える空前の出没数を記録した。

梅雨時の特徴である蒸し暑い曇り空が、ホタル出沒の最良の条件といわれているが多少の降雨は影響ないようである。確認していないが小型のヘイケホタルは田圃のタニシ等を餌とし、7 月頃から 8 月上旬へかけて辰野町の各所で見られると話している。

◎ホタル保護育成協力金 500 円（中学生以下は無料）を町では見物客から自主的に求めている。

平成 30 年（2018）のゲンジホタルの出現数は、以下のとおりである。

町では、理由は不明だがホタルの出現時期が少し早くなっているようだと話している。平成 30 年は、6 月 16 日から 24 日まで「ほたる祭り」を設定しているが出足が早いようだ。

毎春、水中でカワニナを食べている終齢幼虫が川から上陸し蛹となる数も調査し発表している。蛹も光を発する。それらの数を確認することで、長年の経験上この年のホタル発生状況を状況推定している。

平成 30 年確認された蛹になる終齢幼虫の最大数は、4 月 11 日雨、4,908 匹で、蛹の後およそ 50 日後には脱皮して成虫のホタルなるという。



平成 30 年 ホタル確認数 辰野町の資料による

5 月 26 日くもり	初見 3 匹
6 月 1 日晴	270 匹
6 月 5 日雨	2,358 匹
6 月 10 日くもり	6,040 匹
6 月 11 日くもり	6,195 匹
6 月 12 日晴	7,436 匹
6 月 13 日くもり	4,402 匹
6 月 14 日くもり	5,340 匹
6 月 15 日雨	3,229 匹
6 月 16 日くもり	3,940 匹
6 月 17 日くもり	4,583 匹
6 月 18 日晴	2,046 匹
6 月 19 日くもり	2,228 匹
6 月 20 日雨	1,367 匹
6 月 21 日晴	1,522 匹
6 月 22 日晴	1,528 匹

6 月 23 日くもり	684 匹	6 月 24 日晴	1,048 匹	6 月 25 日晴	699 匹
6 月 26 日くもり	376 匹	6 月 27 日雨	471 匹	6 月 28 日くもり	185 匹
6 月 29 日くもり	174 匹	6 月 30 日晴	187 匹	7 月 1 日晴	91 匹

こあじろの森くらぶ NEWS

スタッフの活動

- 2018.06.24(日) 10:00～ 小網代の森くらぶ通信 No.12 印刷・発送
スタッフ会議(横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2018.07.08(日) 10:00～ スタッフミーティング(横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2018.07.14(土) アカテガニ遠足下見 15:50 三崎口駅前
- 2018.08.11(土) 12:00～ スタッフ会議(横須賀市立 市民活動サポートセンター)
アカテガニ遠足
- 2018.08.20(月) 第12回交流会お知らせハガキ発送
- 2018.09.01(土) 第12回交流会下見
- 2018.09.02(日) スタッフ会議
こあじろの森くらぶ第3回総会
- 2018.09.15(土) 第12回交流会「変形菌を探そう！」
(盛会のうちに終了しました。報告は次号通信に掲載します。)

●●● ご寄付ありがとうございます ●●●

芥川仁美 石川登美子 大高義彦 大塚敏 奥津信子 小田島一生 柿島京子 倉内大輝
倉内ちひろ 柴内朱美 塩入一弥 嶋津誠 鈴木カヲル 鈴木慶子 鈴木久夫 須田漢一
祖父川精治 高橋伸和 高間玖禰美 高間玲江 土屋圭子 中井由実 浪本晴美
西川次代 野内博 橋美千代 廣川ひで子 藤崎英輔 藤野秀代 松原あかね 三本保子
宮本光子 宮本美織 盛野成信 盛野雅子 山城謙一 山本述子 (50音順 敬称略)

ありがとうございます、大切にに使わせていただきます。

●●● 第13回交流会のお知らせ ●●●

「小網代の森は秋まっさかい！」

- 開催日：2018年10月28日(日)
* 荒天の場合は中止します
- お待ち合わせ:10:00 三崎口駅前 14:00 頃散会
- 持ち物:お弁当、飲み物
- 対象:「こあじろの森くらぶ」会員とご家族、ご友人
- * 保険はありませんので、ご参加は自己責任でお願いします。

●●● 予 告 ●●●

12月1日(土)に第14回交流会を予定しています。終了後には縁の会(忘年会)を開催！
詳細は次号通信でご案内します。是非ご参加ください。

こあじろの森くらぶ通信 No.13

2018年9月30日発行

こあじろの森くらぶ Koajiro Woods Club

所在地：〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田 1528-75

連絡先：info@mori-club.com (高橋)

046-889-0067 (仲澤)

URL : <http://www.mori-club.com>

年会費：1000円 (7月～6月 入会金不要)

郵便振替 こあじろの森くらぶ 00290-6-137203